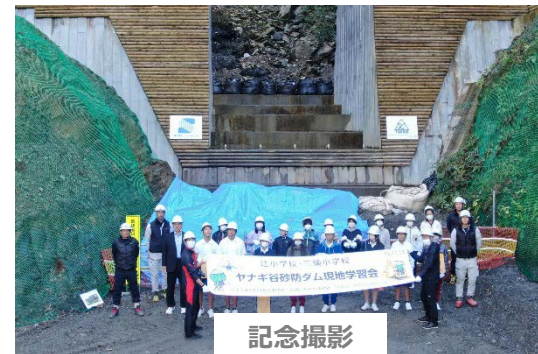


近年は、気候変動の影響により台風や線状降水帯に伴う豪雨災害が発生するなど、全国的にも土砂災害が激甚化・頻発化の傾向となっているため、砂防堰堤の整備等のハード対策に加えて、警戒・避難体制の強化や防災学習の充実等のソフト対策も推進する必要があります。また、建設業は地域の安全・安心を確保する上で重要な役割を担っていますが、建設業就業者の減少や高齢化が進行するなど、担い手確保が喫緊の課題となっています。

そこで、四国の中山間地域で頻発する土砂災害への関心を高めるとともに、次世代を担う子供達に建設業の魅力を伝えることにより、担い手確保に繋げることを目的として、砂防堰堤の工事現場を活用し、地域の小学生を対象とした「砂防防災学習会」を徳島県と共同で開催しました。

- 1. 実施日**：令和5年11月14日(火)10:00~11:30
- 2. 場所**：ヤナギ谷砂防堰堤工事現場(徳島県三好市池田町川崎)
- 3. 内容**：土砂災害の概要説明(県)、工事概要の説明(国)、土石流3Dシアター体験(国)、土石流実験装置の実演(県)、砂防堰堤の工事現場見学(国)、記念撮影
- 4. 参加者**：三好市立辻小学校・三縄小学校(5・6年生)18名



【主な感想】

- ・実物の砂防ダムを見ることができ、すごく大きくて見上げるほどでした。
- ・土砂災害は人の命に関わる災害なんだと思い、おそろしさを感じました。
- ・3Dシアターでは、土石流が起こる時に取るべき行動や土石流が起こる前の状況などを映像を見ながら学ぶことができました。